

大学院 工学研究科 ディプロマ・ポリシー

(博士前期課程)

博士前期課程に2年以上在学して所定の単位を修得し、授業や研究活動を通じて、下記に掲げる能力を備えていると判断できる学生に対して修了を認定し、修士（工学）の学位を授与する。

(1) 人類が現在直面している持続不可能性をもたらす諸課題の解決に取り組み、専門職業人として社会の持続可能な発展を担うことができる。

(2) 学士課程教育で得た成果をさらに高め、専攻における専門性と隣接する知識を総合して課題解決に取り組むことができる。

(3) 研究活動を介して、課題内容を理解し解決策を導くことができ、倫理観をもって他者との協働による課題解決に取り組むことができ、説明することができる。